

## 高尾 直樹 先生

京都府京都市 高尾歯科クリニック



京都市南区でご開業の高尾先生に、3M™ ペンタ™ アルジネート印象材の導入のメリットおよび歯科医院での運用についてお伺いしました。

### 1 | 新人のスタッフのトレーニングには大体1ヶ月くらいかかっていた

当医院では、以前から新人のスタッフに対しては、印象の準備を含め、1ヶ月くらいかけてしっかりとトレーニングをしており、医院として大きなコストがかかっている。この3M™ ペンタ™ アルジネート印象材を導入することで、印象材の練和など、印象の準備のトレーニングが必要なくなり、入ったその日から印象の準備ができることは大きなメリットである。また、手練りでは必要な量だけを予め練ることは難しく、どうしても余分な印象材、廃棄物の保管コスト、廃棄のコストなどが発生するが、3M™ ペンタ™ アルジネート印象材では、こういった隠れたコストを削減できることもメリットである。

### 2 | チェアタイムが、確実に短くなっている

3M™ ペンタ™ アルジネート印象材を使用することで、印象の準備の時間が短くなり、結果としてトータルのチェアタイムが減っている。練ってから口に入れるまでの時間は感覚的には20秒くらいは短くなっている。特に当歯科医院では、一日に60回程度は印象を取っているため、1日で考えると大きな時間の削減である。また、時間が短くなるだけでなく、誰が準備しても同じ練和時間のため、時間も均一になるのでタイミングを合わせやすくなっていることも利点の一つである。

### 3 | 口腔内保持時間など、経験しながらコツを掴んだ

口腔内保持時間は、2分半が規定の時間であるが、時間は計測せずに、表面の硬さで確認している。ただし、表面の硬化を確認した後、内部が完全に硬化するまでの時間として、冬場はプラス30秒取っている。十分な時間を待たずに、途中で撤去して失敗して、再印象を取ることを考えれば、多少追加の時間を待つことは患者さんにとっても医院にとっても問題ではないと考えている。

また、ペーストの残りの量については、練和の途中で不足することが一番の時間のロスであるため、カートリッジ交換の目安は、片顎では2目盛り分以上、全顎は4目盛り以上等、経験を通じて余裕を持った運用を決めている。また、全顎取れない量が残った場合には、カートリッジごと交換して片顎で使うなどの工夫をしている。



### 4 | 2ヶ月もしない内に、ペンタミックス™ 印象材自動練和器をもう一台買い足した

元々ペンタミックス™ 自動練和器を使用していたこともあり、アルジネートの印象採得のシステムが変わっても特に問題なく運用ができています。清掃に関する運用では、ミキシングチップをペンタミックス™ 印象材自動練和器1台に対して、15個程度用意し、まとめて昼休みなどに清掃し、使用している。スタッフからの評判も良く、導入からすぐにペンタミックスを追加購入し使用している。



チェア台数が9台、印象回数は1日60回以上。2台のペンタミックス™ 印象材自動練和器で運用。



ミキシングチップを沢山用意しているので、まとめて昼休みなどに清掃している。